

6 - 11 九州・沖縄地方の上下変動

Vertical Movements in the Kyushu and the Okinawa Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、久留米～熊本間の水準測量結果である。前回、熊本側が隆起していたが、今回は反転した。

第2図は、久留米～大分間の水準測量結果である。吉井町付近に変動が急変するところがみられる。又、庄内町の沈降は継続している。今後の調査の結果を待ちたい。

第3図は、熊本～芦北間の水準測量結果である。熊本市南部の沈下が続いている。八代～芦北間は、前回と変動のパターンが逆転している。

第4図は、熊本から阿蘇カルデラを横断し、大分に至る路線の水準測量結果である。上段は、今回の測量結果と前回1963年10月～1964年2月の測量結果との比較による25年間の上下変動である。カルデラを中心として最大8cmの沈降がみられる。カルデラ内の水準点は全てが改埋点であるが、このうち1891～1895と1899は、前回の測量時に再設されたものであり、25年間の変動を示していると考えられる。下段は、1963～64年の測量と1941年の測量との比較により得られた22年間の上下変動である。この期間もカルデラを中心とした沈降がみられるが、その量は4cm以下である。期間の長さはほぼ等しいので、最近になって沈降の速度が増したようである。

第5図は、熊本～延岡間の水準測量結果である。御船町付近の隆起は、日奈久断層系の断層運動の可能性もあるので、今後の推移を見守りたい。

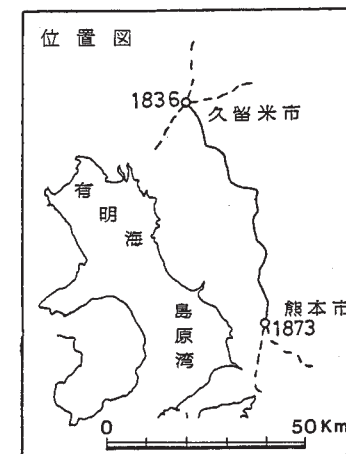
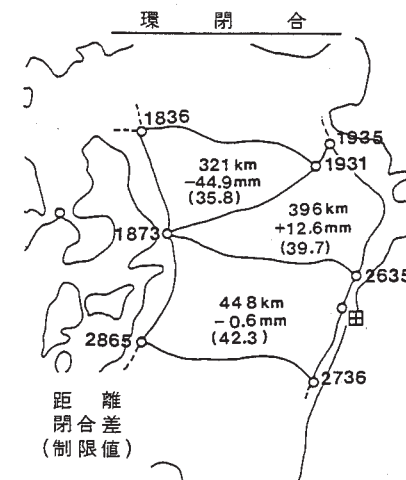
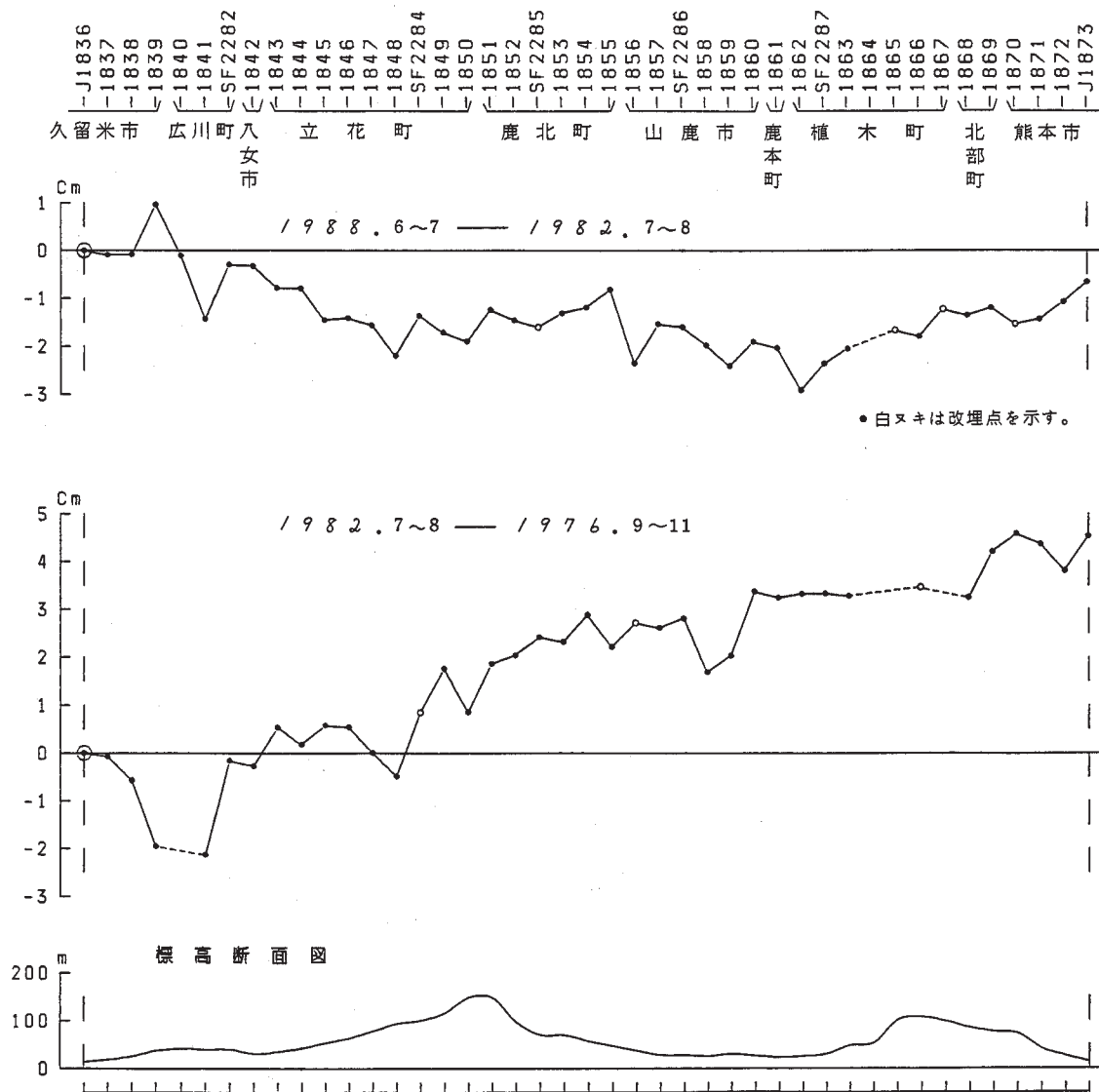
第6図は、日出～大分～直川間の水準測量結果である。別府・大分側が沈降している。

第7図は、大分・細島・三角各験潮場間の月平均潮位差である。三角が1980年頃から沈下傾向にある。

第8図は、名護～本部～名護間の水準測量結果である。大きな変動はない。

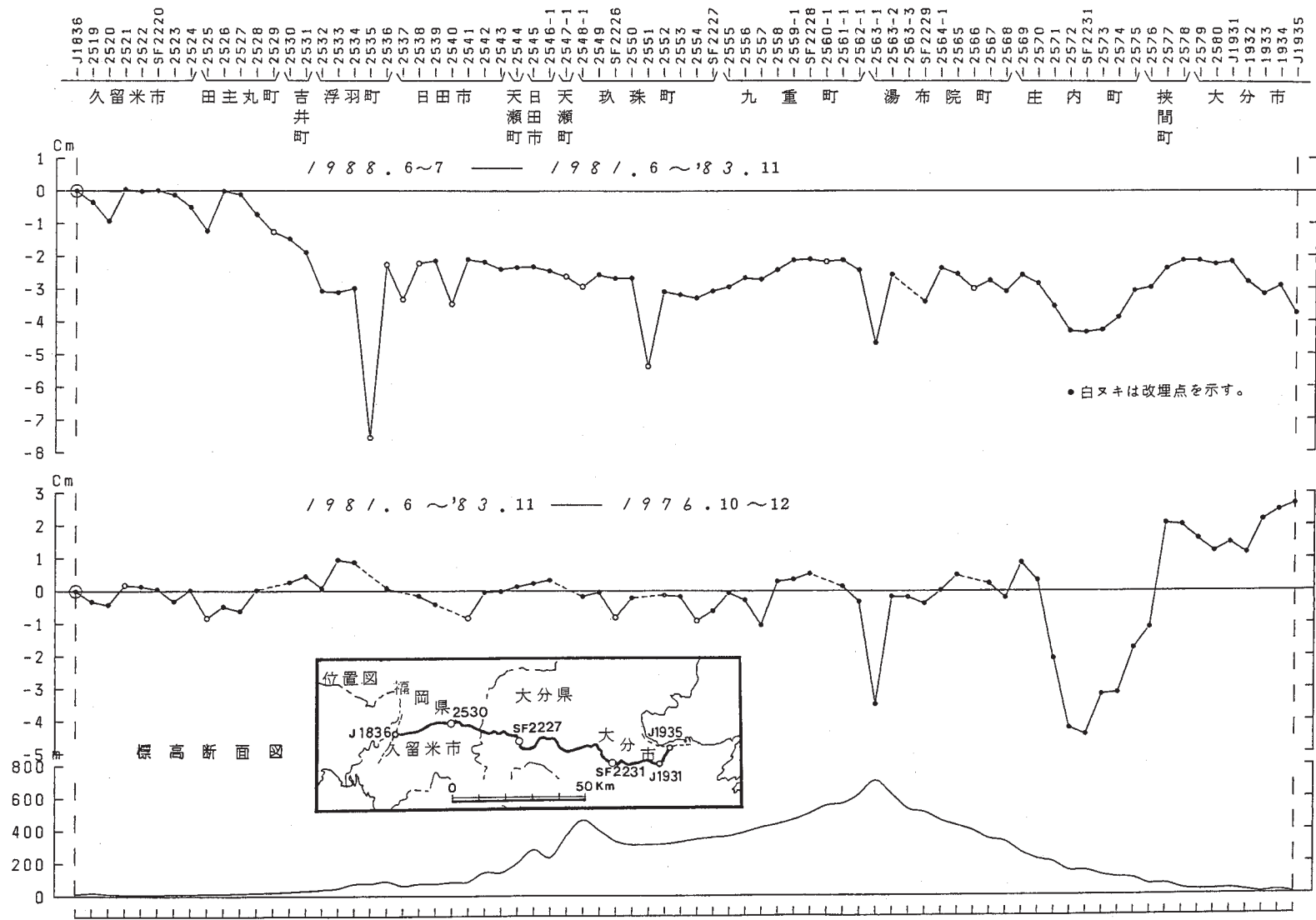
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：九州中部地方の地殻変動，連絡会報，**27** (1982)，302 - 310.
- 2) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**28** (1982)，309 - 320.
- 3) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**29** (1982)，347 - 351.
- 4) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**32** (1984)，355 - 358.
- 5) 国土地理院：中国・九州・沖縄地方の地殻変動，連絡会報，**39** (1988)，359 - 367.

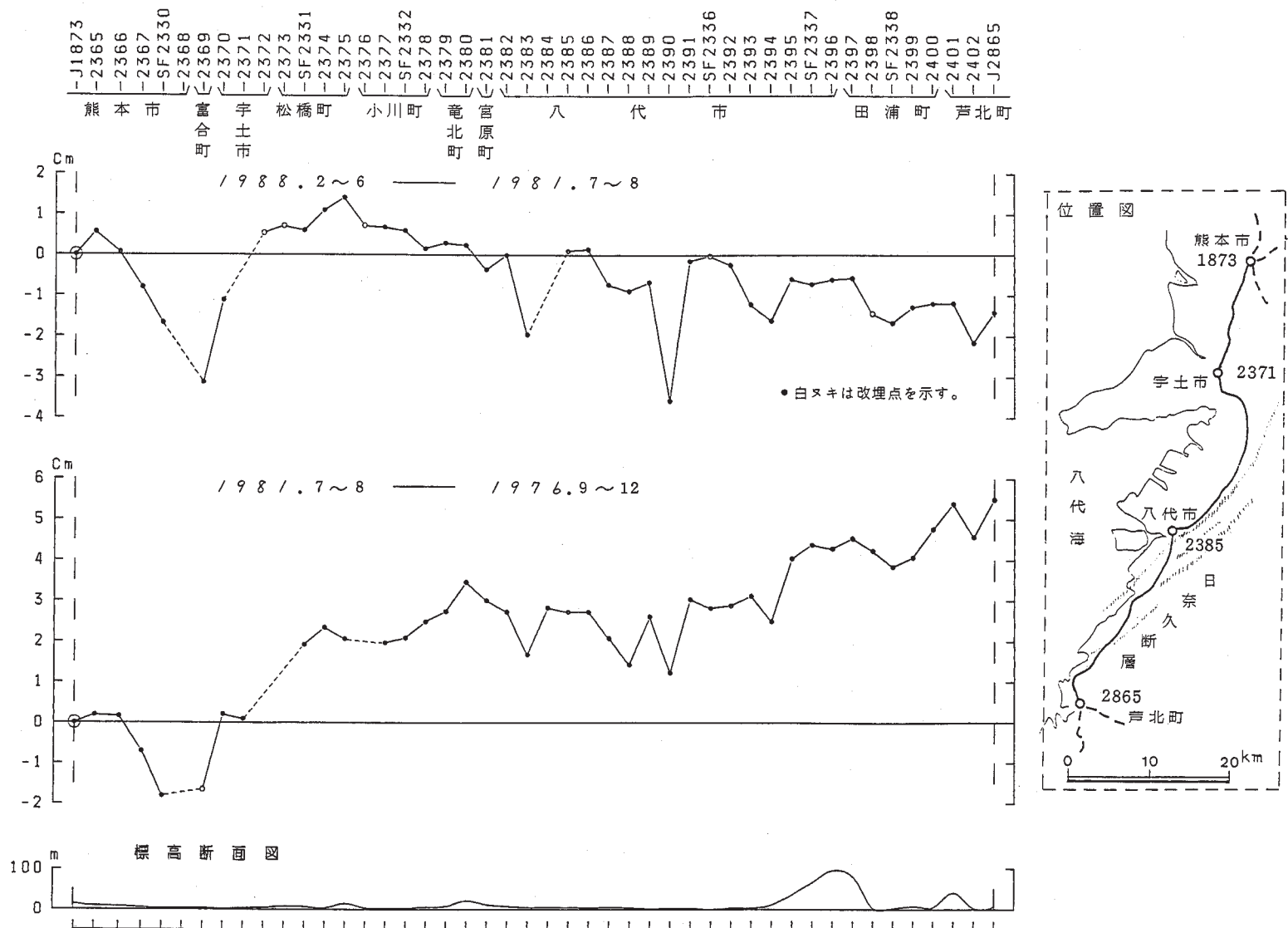


第1図 久留米~熊本間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Kurume to Kumamoto.

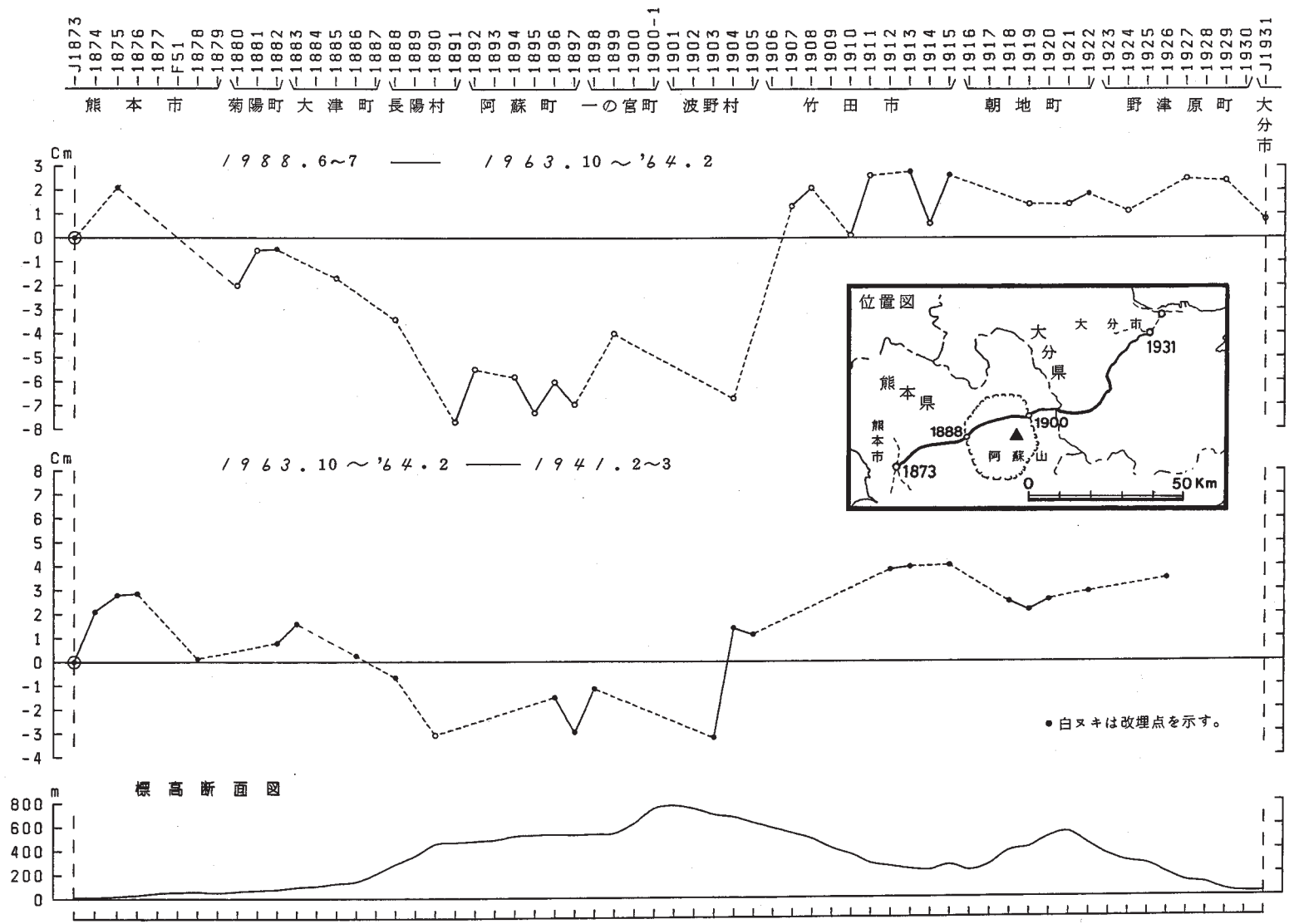


第2図 久留米～大分間の上下変動
 Fig. 2 Level changes along the route from Kurume to Oita.



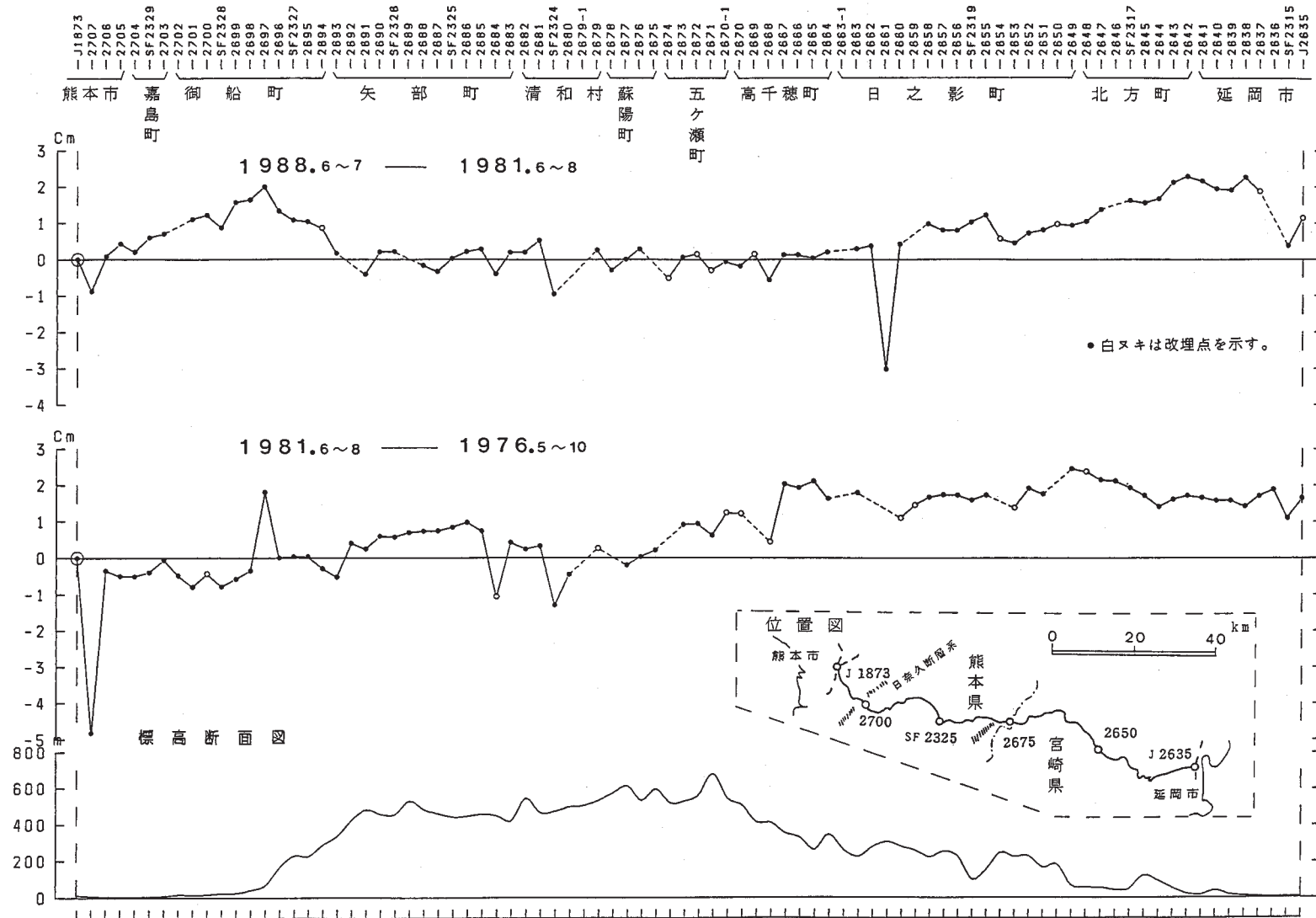
第3図 熊本～芦北間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Kumamoto to Ashikita.



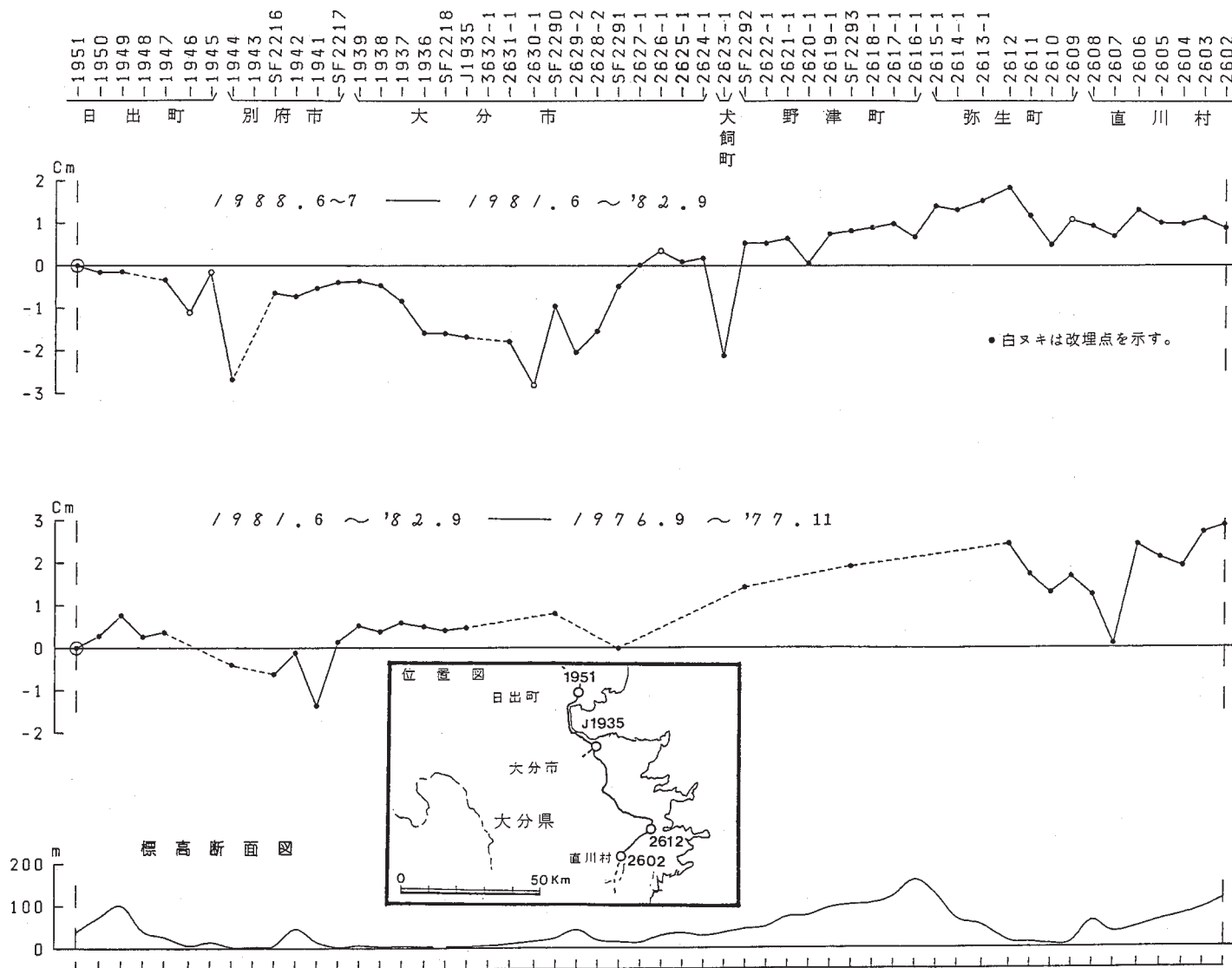
第4図 熊本～阿蘇～大分間の上下変動

Fig. 4 Level changes along the route from Kumamoto to Oita via. Aso.

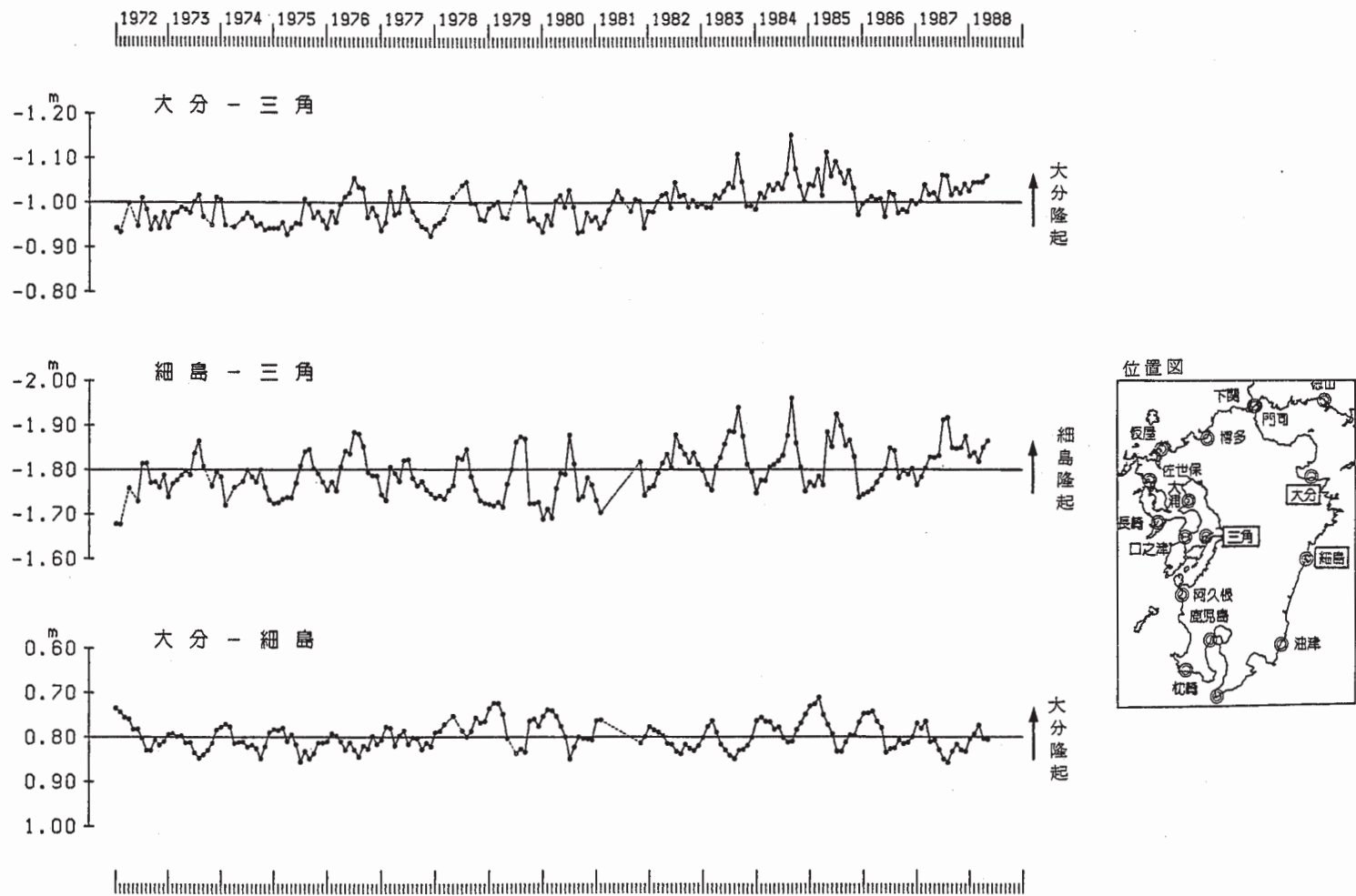


第5図 熊本～延岡間の上下変動

Fig. 5 Level changes along the route from Kumamoto to Nobeoka.

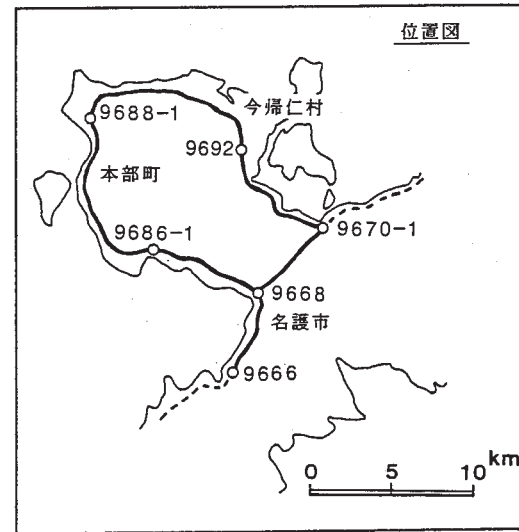
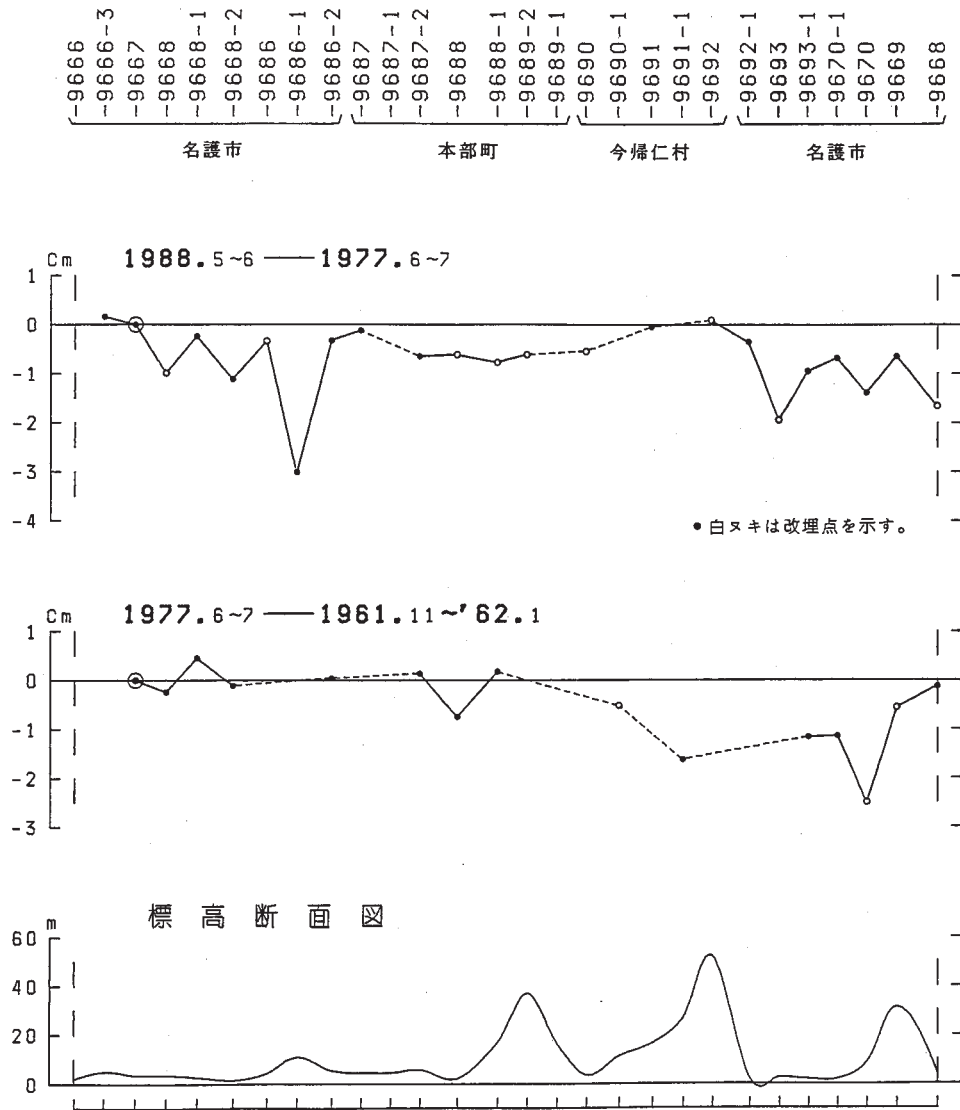


第6図 日出～直川間の上下変動
 Fig. 6 Level changes along the route from Hinode to Naogawa.

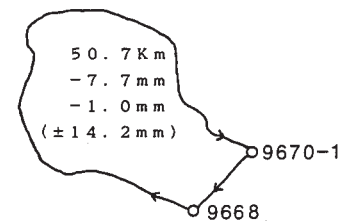


第7図 大分・細島・三角験潮場間の月平均潮位差

Fig. 7 Differences in monthly mean sea levels between Oita, Hososhima and Misumi tide stations.



環閉合
 上段: 1988.5~6
 下段: 1977.6~7
 (): 制限値



第8図 名護~本部~名護間の上下変動

Fig. 8 Level changes along the route from Nago to Nago via. Motobu.